

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

グループ理念

暮らしに寄り添う技術とアイデアで人と社会にやさしい空間を世界中へ提供することを使命とし、これからの100年も人と社会にやさしい空間を世界中へ提供し…

営業利益率
5.0%

ROE
8.0%

PBR
1.0倍

ROIC
8.0%

② 中長期の経営戦略

1. 収益性の向上

成長事業への注力及び既存事業強化で安定した収益基盤を確保。メキシコ合成皮革工場の稼働、自動車内装の加飾技術差別化、鉄道非常脱出はしご提案、インテリア付加価値型製品拡充、ECOSシェアアップ…

3. 非繊維領域強化

繊維で培ったコア技術を進化させ非繊維商材開発に注力。メキシコ合成皮革工場での新規素材開発、フィルター商品群鮮度保持機能追加、合成皮革やスペースデザインビジネス等新付加価値製品・サービス開発

2. グローバル展開強化

国内外拠点連携で外資系自動車メーカーへの販路拡大。ベトナム拠点生産体制再編によるコスト競争力強化。グローバルインテリア製品拡販体制構築。グローバル人材採用育成

4. 経営基盤強化

サステナビリティ経営推進、コーポレートガバナンス強化で透明性向上。人材育成・確保、政策保有株式縮減、基幹システム再構築による資本コスト抑制

③ 対処すべき課題

① 収益率改善

- ・ 本業における利益率改善が最重要課題。営業利益率5.0%達成に向けた価格転嫁活動と生産性向上が急務
- ・ 2025年5月期ROEが2.1%と低迷。株主資本コスト5～7%上回る水準達成へ取り組み強化が必要

② 自動車内装市場環境への対応

- ・ 自動車内装事業を取り巻く市場環境の不確実性増加に対応。メキシコ合成皮革工場稼働で顧客ニーズ対応力強化
- ・ 外資系自動車メーカーへの販路拡大で市場シェア確保が課題

③ グローバル競争力強化

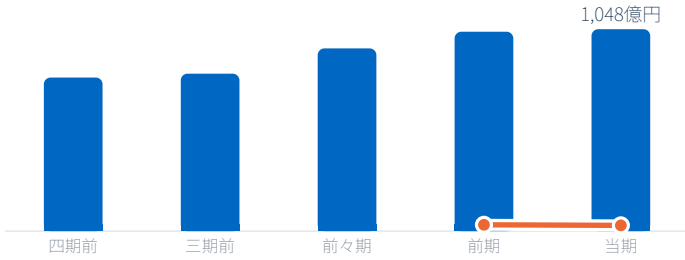
- ・ 海外市場でのプレゼンス向上。グローバル人材採用育成でダイバーシティ拡大が重要
- ・ ベトナム拠点生産体制再編でコスト競争力強化が差別化要因となる

面接で使えるポイント

- ・ 2024年12月に商号をSUMINOE株式会社に変更し本格的な海外展開を推進。
- ・ メキシコ合成皮革工場新設やベトナム拠点再編を通じ、非繊維領域強化と世界供給体制最適化を同時推進。
- ・ 従来の繊維技術をベースにECOS等環境対応製品やフィルター、スペースデザインビジネスなど新付加価値商材を開発。

証券コード 3501

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,048億円営業利益率
2.9%財務健康度
19点 / 100点

要するに

1930年設立の大阪本社の繊維製品メーカーで、連結売上1,048億円

主力事業・セグメント

- 自動車Textiles・Traf 60.9%
- InteriorFittings 36.7%
- Functional素材 2.5%

強み・特徴（公開データから）

- 連結売上高1,048億円の事業規模
- 平均勤続21.1年と定着率が高い
- 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 45.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
627万円

繊維製品内 21位/49社

平均年齢
44.9歳

繊維製品内 22位/49社

平均勤続
21.1年

繊維製品内 10位/49社

女性管理職
6.5%

繊維製品内 27位/37社

男性育休
100.0%

繊維製品内 7位/29社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

